

【大賞・最優秀賞（地域ネットワーク型キャリア教育部門）】

授業実施 企業・団体名	福井商工会議所青年部（福井YEG）
プログラム名	おしごと探検隊 “アントレ・キッズ”
活動の内容（概要）	この活動は、平成17年度より実施しているプログラムで、年々進化しているものです。地域の中小企業自身が、働く意義を体験に子どもたちに教えることで、自らの企業価値を再認識するめにスタートしました。その後、経営者から社員へ、更に、商店街やPTA保護者へと講師の範囲が広がり、YEGが蓄積したノウハウを地域に波及させる活動となりました。 アントレ・キッズとは、「世界で生き抜くための活動」として 現在日本を支える大人達から未来の日本を支える子ども達、そして、子どもを育てる親を同時に 元気にさせる活動です。



PTAの保護者が講師となり、“アントレ・キッズ”を開催。

オフィスの困った！を解決

最新コピー機でオリジナル下敷き作り
小学3年生が、事務機器の販売、保守を体験！短時間で故障を直すヒーロー「60分マン」の紙芝居を、保護者が作成。先生の似顔絵がそっくりで、子ども達に大受けでした。

また、実際に、テスターを使って切れたケーブルを探すゲーム、ループを用いた色の勉強などを行い、仕事の厳しさ、やりがい、チームワークの大切さを伝えました。



PTAの保護者が講師となり、“アントレ・キッズ”を開催。

おいしい牛乳がみんなの所に届くまで
牛の健康を守っているお医者さんの仕事。

家畜の病気の診断や予防を行う家畜保険衛生所に勤務する獣医師の仕事について体験しました。実際に宮崎県にて狂牛病対策へ対応した生々しい経験を元に、その大変さや、仕事の大切さ、誇りを学びました。

【最優秀賞（普及型キャリア教育部門）】

授業実施 企業・団体名	シャープ株式会社 NPO法人 気象キャスターネットワーク
プログラム名	全国の小学校への教育支援活動 (小学校環境教育・小学校ものづくり教室・ 工場見学&環境/ものづくり教室)
活動の内容（概要）	シャープ（株）は、次代を担う子ども達を対象に、社会人との交流を通して職業観の醸成に繋がる各種の教育支援活動を展開しています。 ・気象キャスターと企業社員が環境問題の啓発や環境に配慮した生活への意識醸成と併せ、理系人材育成の為に科学技術や理科への興味を高めることを目的とした「小学校環境教育」（特別支援学校で聴覚障害児にも実施）。 ・ものづくりの工夫、楽しさを伝える「小学校ものづくり教育」。 ・工場見学に、環境やものづくりに関する内容やノウハウを融合させて机上では伝え切れない現場・現物を活かした「工場見学&環境/ものづくり教室」。 これらを通じ、学校の様々なニーズに応えるキャリア教育を推進しています。

	（説明） ・小学校環境教育 リサイクルの授業で、リサイクル工場での磁石による「鉄」「プラスチック」「アルミ（非鉄）」の分別の原理を使った実験機による実験の様子。 講師：シャープ社員
	（説明） ・小学校ものづくり教育 電話（携帯電話）を題材とした講義と分解・実験を行う。カメラやマイク、振動モーターなどの部品を確かめている様子。 講師：シャープ社員

【最優秀賞（地域密着型キャリア教育部門）】

授業実施 企業・団体名	株式会社西島製作所
プログラム名	ドリカムスクール
活動の内容（概要）	社長直轄プロジェクトとして、各部署から選抜された若手社員 8 名（入社 1 年目～10 年目）が、プロジェクトチームを結成。キャリア教育コーディネーター（NPO 法人 JAE）の支援のもと、本社工場近くの小学校へ 3 日間の出張授業を行う。 プログラムのねらいは、「ものづくりの仕事の楽しさ・やりがいを伝え、子どもたちの将来への夢や希望を育むこと」。 子どもたちにとっては、身近なあこがれの大人と出会う機会となり、メンバーにとっては、子どもたちに教える事を通じて自社の社会的意義や仕事への使命感を見つめなおす機会となっている。



（説明）

㈱西島製作所の社員が参加するドリカムスクール授業 2 日目、社員が各クラスに分かれ、子どもたちのものづくり（ポンプで動く観覧車づくり）を支援している場面。社員のものづくりに対する情熱や技術に子どもたちも真剣に見入っている。



（説明）

㈱西島製作所の社員が参加するドリカムスクール最終日、子どもたちの発表・表彰式の後、子どもたちと先生方全員に本社工場で鑄造されたメダルがプレゼントされ、感動のフィナーレを迎えた。写真は、授業終了後に、子どもたちと社員が最後の別れを惜しんでいる様子。

【優秀賞（普及型キャリア教育部門）】

授業実施 企業・団体名	株式会社ウィザス
プログラム名	意欲喚起特別講座（株式会社ウィザス内部での名称） （使用する教材：キャリア教育講座「みらい」）
活動の内容（概要）	第一ゼミナールでは小6～中1の進級時・季節講習時に実施。「将来のことを真剣に考えている」が受講前 55.5%→受講後 89.5%「なぜ勉強するのかわかる」が受講前 79.3%→受講後 91.1%へ増加。 第一高等学院他では、「産業社会と人間」の授業のテキストとして使用。評価はレポートにて行い、本人の記述に合わせて本人が前向きになれるようなフィードバックを行う。進学決定率 67.4%、進路決定率 74.4%（第一高等学院）進級率 92.2%（ウィザス高校・ナビ高校）の効果が出ている。 全国の学習塾他では各々、一過性の講座に留まらずに保護者会や面談時、進級時に活用頂き、保護者からの賛同の声も多く頂いている。

	（説明） 第一ゼミナールでの、授業の実施の様子。夏休みということもあり、部活帰りの生徒もいるが、疲れた様子を見せながらも真剣に集中して取り組む様子が見受けられた。 『みらいのテキストは、自分がこれから進路に迷ったときに、見返してもらいたいもの。真剣に取り組んで、大切に保管してほしい』と教員はメッセージを送っていた。
	（説明） キャリア教育に通じた教員や専門知識を持っている教員でなくても、授業を実施することができる。この回は若い教員が担当だったが、生徒をうまく盛り上げ、また、自分の経験を語ることによって、生徒にとって考えやすい、意見を発表しやすい環境作りに努めていた。

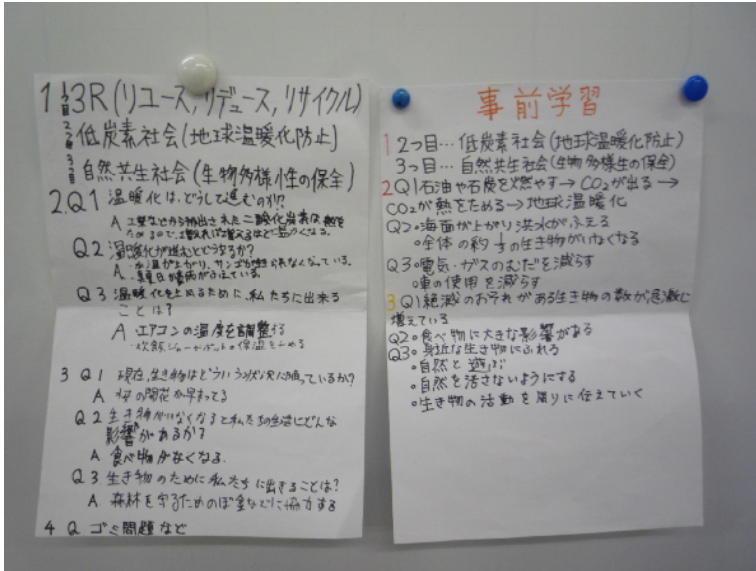
【優秀賞（普及型キャリア教育部門）】

授業実施 企業・団体名	清川メッキ工業株式会社
プログラム名	めっき教室
活動の内容（概要）	めっき教室に込められたキャリア教育の思いとは、「中小企業が、地域と共に世界で生き抜くための活動！」です。めっき教室では、「職業を選ぶ時に大切なこと」を、まず家庭で話し合いを行ってもらい、授業を向かえます。その後、グループディスカッションを経て、我々の考える「大切なこと」を話し、子ども達（保護者）との思いギャップについて、話し合います。最終的に、学校で学んだ事が、如何に社会で大事なことであるかを、めっき実験を通して体験を行います。この根本にあるのが、地域文化継承です。働くこととは、「地域や自分自身を知る事で世界を理解でき、利他の精神で社会に役に立つ喜びを実感することである」こと伝えていきます。

	【大東中学校授業風景】 ・グループディスカッションにて家庭で話合った、「将来職業を選ぶ場合にどのような事が大切か？」ベスト3を話し合い、更にグループとしてベスト3を決定。 ・グループ毎にベスト3発表 ・清川メッキ役員（講師）が考える「将来職業を選ぶ場合にどのような事が大切か？」ベスト3を発表 先生、保護者、学生、企業が一体となった授業ができ、子ども達への将来を考えるよりキッカケ作りができたと思います。
	【講師社員の感想】 子ども達の作業は、感性で動いていました。「何で絵書くの？」 「これ振ったらどうなるやろ？」 「色だんだんついてる！！」「きれい、おもしろい」実際にめっきを理論的に説明しても、子ども達は各々の感性で理解しているように見えました。はっ、と気付かされました。我々は普段このように感性で感じているのかと？ 企業として、合理的・理論的に考えることも重要ですが、こういった「感性」や「好奇心」も、無くしてはいけなと！※ 黒板には、メッキレンジャーが描かれ、社員自ら楽しんでいる様子がうかがえます。社員の仕事に対する情熱が学生に伝わり、大いに盛り上がった授業となりました。

【優秀賞（地域密着型キャリア教育部門）】

授業実施 企業・団体名	株式会社熊谷組
プログラム名	クマさんの環境教室
活動の内容（概要）	当社では、CSR活動の一環として、東京都内の小中高校生を対象とした環境学習プログラムを地域のNPO法人と連携しながら、2002年より実施しており、これまで延780人の児童生徒が受講している。本学習プログラムは、環境問題をテーマとしているが、単に環境に関する知識を習得するのではなく、社会人として必要な「自ら考え、自ら行動する」ための基礎をつくることを目的とし、それぞれの年代にあった学習方法を取りながら実施している。学習実施後には、学習者・学校・NPO法人・学習に参加した保護者・社内支援者の声を聞き、学習プログラムに改良を重ねている。

	（説明） 街のデザイナー授業（中学校2年生）で生徒がまとめた発表用資料 事前課題 （調べたことを、このようにまとめました）
	（説明） 街のデザイナー授業 （中学校2年生） 社員が建築の現場見学で説明を聞いている様子

【優秀賞（地域ネットワーク型キャリア教育部門）】

授業実施 企業・団体名	株式会社 教育と探求社 株式会社 教育と探求社／株式会社クレディセゾン／スカパーＪＳＡＴ株式会社／大和ハウス工業株式会社／テーブルマーク株式会社／株式会社日本経済新聞社／森永製菓株式会社
プログラム名	クエストエデュケーションプログラム「企業探求コース」
活動の内容（概要）	クエストエデュケーションプログラム「企業探求コース」では実在の企業におけるインターンシップを教室で体験します。企業６社の中から希望の１社を選択し、インターンとして、フィールドワークやアンケート調査などの実務に取り組みます。各企業の事業内容や社会における役割、企業文化などに触れると共に、ＩＴスキルや文章作成などの技術も身につけていきます。後半では企業から出される課題（ミッション）に取り組みます。情報を集め、チームで話しあいながらプランを完成させ、プレゼンテーションを行います。チーム活動を通じて、社会や経済、働くことの意義についての理解を深め、自律的な学習姿勢と豊かな創造性を育みます。

	企画会議の様子。 みんなでアイデアを出し合って、付箋をたくさん貼っていきます。
	プレゼンテーションの様子。 聞く人に伝わりやすいパワーポイントになるように工夫しています。

【審査委員特別賞】

授業実施 企業・団体名	千葉県・千葉大学教育学部 千葉市役所／千葉大学／ピーナツクラブ西千葉／アミーゴプロジェクト／千葉大学産業人倶楽部「絆」／株式会社千葉銀行
プログラム名	西千葉子ども起業塾
活動の内容（概要）	小学4～6年生の子どもたちが協力し合って、西千葉・ゆりの木商店街を舞台に地域イベント「第三土曜日市」を盛り上げるための会社を創り、地元商店街の関係者や実際に起業した現役の社長達のアドバイスを受けながら、商店街の来場客数・売上向上を目指して、経済の仕組みや地域社会との関わり、働くことについて学ぶ。フィールドワークによる課題の発見から、事業計画書の作成、銀行との融資交渉、資材の仕入れ、事業準備を経て、「第三土曜日市」当日の事業実施まで、事業の立ち上げから実施までの流れを体験する。



子ども達の会社には学生とともに実際に企業を経営する起業家が参加し、子ども達の事業を手助けします。



第三土曜日当日は熊谷千葉市長も来場し、子ども達を激励しました。
子ども達は自分達の会社の事業を市長に説明し、実際に体験してもらっていました。

【審査委員特別賞】

授業実施 企業・団体名	西尾信用金庫
プログラム名	西三河ハイスクール・起業家コンテスト
活動の内容（概要）	廃業率が開業率を上回り事業所数の減少に歯止めがかからない状態が続いている中、将来を担う高校生に実際のビジネスに携わる機会を提供し起業家精神の醸成及び地域経済の活性化を図るため、西三河南部の専門学科を有する県立高校 10校・20 チームを対象としたビジネスコンテストを開催。チーム内に社長・部長等を設置し、企業としての組織化を図ると共に、事業計画の策定・商品開発・広告・販売・経理にいたるまで幅広くビジネスを疑似体験できる機会を提供した。



（説明）

参加高校生達が、地元素材を使った商品を地域のイベントで販売する様子



（説明）

審査発表会会場において、活動結果を報告する参加高校生
（平成 23 年 1 月 29 日
（土））